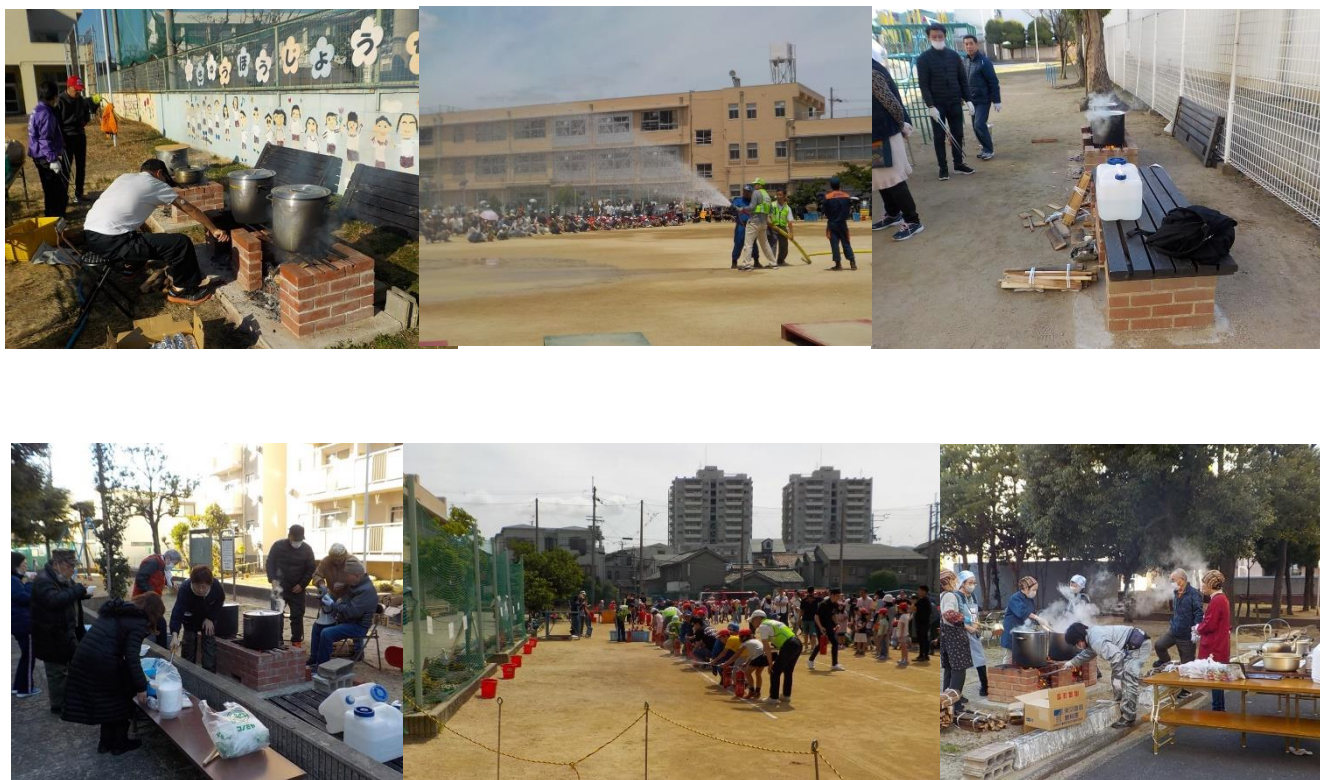


八尾市久宝寺小学校区 地区防災計画（Ver 1）



令和 7 年（2025年）3月版
久宝寺小学校区まちづくり協議会

目 次

会長の挨拶	．．．．．	2
久宝寺小学校区の概要	．．．．．	3
「地区防災計画」の策定体制	．．．．．	5
久宝寺小学校区の防災目標	．．．．．	6
地区防災計画の対象	．．．．．	7
わたしのタイムライン	．．．．．	8
久宝寺小学校区の避難の考え方	．．．．．	9
久宝寺小学校区の安否確認方法例	．．．．．	10
久宝寺小学校区の要配慮者の安否確認方法	．．．．．	12
久宝寺小学校区 町会情報	．．．．．	13
避難所の開設・運営の方針について	．．．．．	55
久宝寺小学校区指定避難所運営	．．．．．	56
今後の課題	．．．．．	62
年間スケジュール	．．．．．	63

会長の挨拶

八尾市は、東の生駒断層帯、西の上町断層帯に近接していると共に、南海トラフ巨大地震についても、今後30年以内に発生する可能性が80%と想定されており、防災対策のより一層の強化が求められています。

災害は、いつ発生するかわからず、イザに備えて地域全体で備えを進めておくことが、被害を最小限に抑え、尊い命を守ることに繋がります。

このような背景のもと、久宝寺小学校区まちづくり協議会では、令和5年2月に策定の「久宝寺小学校区 第Ⅲ期わがまち推進計画」の中で、「安全安心まちづくり事業」として「ひとりも取り残さず、守り合う安全安心なまちづくり」を最優先の目標として掲げ、取り組みを進めています。

そして、「地区防災計画」の策定を具体的施策の一番目に掲げ、令和5年9月に検討委員会を立ち上げて検討を進め、このたび第一版としてまとめることができました。

この計画書は、避難経路、安否確認と避難所運営を骨子としたもので、策定に当たっては、ワークショップを通じた意見交換や防災訓練を通じた実践的な検証を経て集約したものです。

地域や関係団体の皆さんのご協力を得て、地域の特性や課題に向き合いながらできあがったこの計画書は、わがまちの防災対策の指針になるものと考えます。

合わせて、災害発生時にどのように行動すべきかを具体的に示し、適切に行動できるにすることを目的にすると共に、指針のもとで互いに助け合えるしくみをつくることも目標としています。

防災は個人だけでなく、地域全体で取り組むべき課題です。この「地区防災計画」が、災害時における行動、また、防災意識を高めるためのガイドラインとして活用いただきますようお願い申し上げます。

久宝寺小学区まちづくり協議会
会長

久宝寺小学校区の概要①

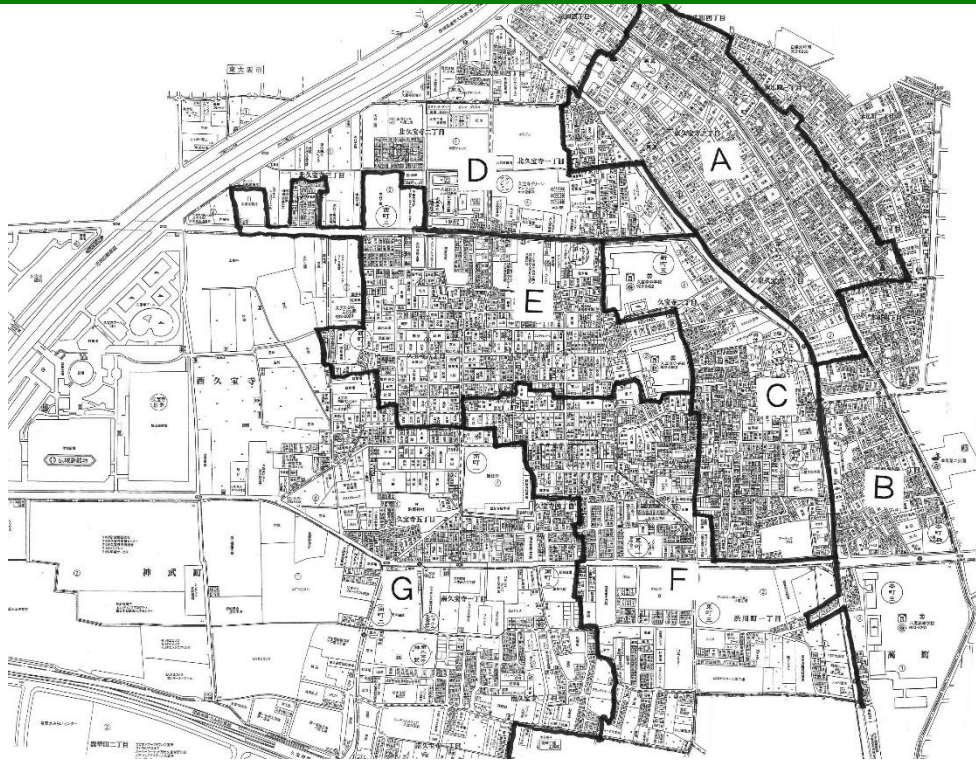


久宝寺小学校区は、市域の北西部に位置します。校区の北側には近鉄大阪線、南側にはＪＲ大和路線が東西に走っており、西側には主要幹線道路の府道大阪中央環状線や府営の久宝寺緑地があり、東側には桜並木のある長瀬川が流れています。校区の中央部には、顕証寺を中心に府下でも大規模な中世の町割りが残る久宝寺寺内町があります。校区内には鉄道駅はありませんが、近鉄大阪線久宝寺口駅、ＪＲ大和路線久宝寺駅が最寄り駅で徒歩圏内です。

道路は南北に府道大阪八尾線、府道大阪中央環状線、ならびに近畿自動車道が走り、東西に府道大阪港八尾線が走っています。

また、高齢化率については、令和５年３月末時点で八尾市平均２８．３４％に対して、久宝寺地区では３０．１６％と高くなっています。

久宝寺小学校区の概要②



久宝寺地区は、AからGまで7つのブロックに分けて活動しており、各ブロックに防災備蓄倉庫を設置し（設置場所は令和3年度作成のわがまち防災マップ参照）地域特性に応じて備蓄品を整備しています。

各地域の状況は、Aブロックの長瀬川沿いでは古い建物や一部空き家も多くあります。敷地が広い一戸建て住宅が多いため、倒壊しても道を塞ぐ可能性は低いものの、一部土塀や擁壁が倒れ道路を塞ぐ可能性があります。また高齢者が多く、町会加入率が高い町会と低い町会が混在しています。

Bブロックは4m未満の狭隘道路が多く、緊急車両などが入れない箇所がありますが、町会加入率は高く日頃からの声掛けや消火器などの備えには努力しています。

Cブロックの一戸建て住宅区域では道が狭く古い木造住宅もあり、大型の緊急車両が入れないところもあります。Dブロックは、工場と住宅が混在する地域で行き止まりの道路もあります。

久宝寺寺内町周辺のFブロックやEブロックでは、古い木造住宅が多く、倒壊の恐れもあり、道路も狭いため大型の緊急車両が入れない場所もあります。増水すると危険な水路もあり、暗渠につながっているため注意が必要です。

Gブロックの南久宝寺では、現在も転入が多く、若いファミリー層が多く居住されており、比較的新しい建物が多いので倒壊の恐れは低いです。道も広く整備が進んでいますが、賃貸マンション等の町会未加入者との連携をどう図るかが課題です。

また、久宝寺地区には府営住宅が2か所ありますが、耐震補強はされているものの、高齢化が進んでおり独居世帯も多く、高層のため避難等に課題があります。

「地区防災計画」の策定体制

久宝寺地区防災計画の策定に当たり、防災委員会（専門部会）を設置し防災委員会を中心にワークショップ等を開催し策定します

防災委員会（専門部会）設置、計画策定の考え方

- ◎「久宝寺小学校区まちづくり協議会（以下、協議会）」に専門部会を設置
 - ・協議会に、従来から多様な事業の推進のため、各種の課題解決や取り組みごとに当該協議会規約 第10条に基づき「専門部会」を設けています。
 - ・「久宝寺小学校区 第Ⅲ期わがまち推進計画」の策定に当たり、従来の「専門部会」（＝チーム）を見直し、令和4年8月に3つのチームに再編しました。
 - ・「専門部会」の内、防犯・防災をテーマとして「安全・安心のまちづくり」を担当する「Bチーム」を核とし、防災委員会を構成します。
- ◎「共助」と「地域特性」を反映し、検討課題への対応を考慮したフレキシブルな体制
 - ・自主防災組織、自治振興委員会から各ブロック代表が委員として参画します。
 - ・広範囲、多岐にわたる課題へ取り組むため、協議会関係団体から広く参画する体制や策定プロセスでは、グループ討議やワークショップを中心とした“話し合い”と“関与”を基本に策定に取り組みます。

< 防災委員会の組織 >

消防団

会長

連合隊長

協議会 関係団体代表

久宝寺小学校PTA
久宝寺地区青少年指導員協議会
地区民生委員児童委員会
久宝寺地区女性会
地区更生保護女性会
他

久宝寺地区自主防災組織ブロック隊長

G	F	E	D	C	B	A
リーデンス ルム久宝寺、南町一・二・三、 南久宝寺、南久宝寺神武、シャ	老松、東町一・二・三	北町第一、中町、西町一・二	グリインマンション一・二・三、 北府住一・二、北町第二・三、	府住一・二・三、 新町一・二・三・四・五・六・七	本町一・二・三	真砂第一・第二、旭町、栄町、 常磐町・高砂町

久宝寺小学校区の防災目標

久宝寺小学校区の地域住民の命と生活を守るため、大規模災害発生に備えて、また、発生時に取るべきことを、以下に方針として定めます。

■ 「自助」の徹底による個人の防災力の向上

各家庭や個人が災害時に適切に行動できる知識や防災備蓄の必要性を認識し、防災グッズの準備、ハザードマップの活用、避難行動の計画をもち、災害時の被害を最小限に抑えることを目指します。

■ 「共助」による地域の助け合いの体制づくり

各町会やブロックで自立的に災害対応ができる体制を構築し、地域住民同士が災害時に支え合う仕組みをつくります。

防災訓練の実施や、隣近所との連携を深める取り組みを推進し、お互いに助け合えるコミュニティの醸成を目指します。

■ 「誰ひとりも取り残さない」支援体制づくり

高齢者、障がい者、外国人、妊産婦、乳幼児など、災害時に特に支援が必要な方々を取り残さないための仕組みを整備します。

避難支援リストの作成、避難所での配慮など、全ての人が安全に避難できる環境づくりを目指します。



地区防災計画の対象

久宝寺小学校区の地区防災計画で想定するハザードは「地震」です。

「地震」では、南海トラフ巨大地震の海溝型地震や生駒断層帯地震等の直下型地震に対して、起こり得る被害の想定と、地震発生直後から指定避難所開設までの住民と行政の対応計画について示しています。

対象となるハザードとその基準	地震	震度5強以上
計画の局面	事前の備え	平時から災害発生のおそれまで
	地震	地震発生直後から、指定避難所の開設まで
計画の目的	①平時においても災害に備え、自助力を高める。 ②久宝寺小学校区における地震の被害想定を周知する。 ③災害の発生から一時避難所または指定避難所へ避難し、指定避難所開設までの流れを把握する。 ④地区ごとの防災に関する取り組みと避難の体制を把握する。	

わたしのタイムライン

ハザードマップで チェック	避難行動のチェック			家庭の状況のチェック
自宅で想定される 震度は？ 〔震度 〕	震度5強以上の時 または 町内に電気などのラ イフラインに被害が あるとき	地域の一時避難所 〔 〕 に集まる	指定避難所 〔 〕 に避難 (在宅避難ができるなら 自宅に戻る)	避難に支援が必要な人は？ (高齢者、障がい者、妊婦、 乳幼児など) ☐ いる ☐ いない ペットは？ ☐ いる ☐ いない

	私と家族の行動	地域での行動
平常時	☐ 食料は最低3日分、できれば1週間分程度を備蓄 ☐ 非常持出品(備蓄品など)を準備(リュックなどに入れておく) ☐ 飲料水 ☐ 調理不要の食品 ☐ 紙コップ、皿、割り箸などの食器類 ☐ 衣類・下着類・軍手 ☐ 懐中電灯 ☐ 乾電池 ☐ 携帯電話の充電器 ☐ () ☐ 自宅の耐震性を確認し、必要に応じて改修などを行う ☐ 家具の転倒・落下物防止対策をする ☐ 新聞・テレビ・インターネットなどで防災の情報を収集 ☐ 家族内の災害時の連絡方法を確認 ☐ 地域の防災訓練に参加 ☐ () ☐ ()	☐ 近所の人と顔の見える 関係を作っておく ☐ 近所の人と協力体制を話し 合っておく ☐ 防災訓練の開催 ☐ () ☐ ()
地震発生	まずは自分の身を守る ☐ まずは低く、頭を守り、動かない ☐ 丈夫な机の下などに避難 ☐ ()	
安全確保 (3分)	☐ 落ち着いて状況を把握 ☐ 家族の安全を確認 ☐ 火の始末 ☐ ドアや窓を開けて逃げ道を確保 ☐ ()	
避難行動 (30分)	☐ 余震に注意する ☐ 非常持出品(備蓄品など)を確認 ☐ 地域の集合場所に集まる ☐ 家を出るときは、ブレーカーを切り、 ☐ ガスの元栓を閉める ☐ 移動の際には、ブロック塀などには近寄らない ☐ ()	☐ 近所の人々の安否を確認する ☐ ()
避難・共助 (3時間)	☐ 地域でまとまって避難所に避難する ☐ 自宅の様子が安全であれば、自宅に戻って在宅避難する ☐ ()	☐ 協力して消火・救出活動を行 う ☐ ()
避難所 にて	☐ 災害用伝言ダイヤル(171)やSNSなどを活用し、無事を知らせる ☐ 集団生活のルールを守る ☐ ()	☐ 避難所の運営に 積極的に協力 ☐ ()

久宝寺小学校区の避難の考え方

久宝寺小学校区は分散避難を推奨

自宅が危険な場合の避難先は、小学校などの避難所だけではなくありません。防災マップを確認した上で安全な**親戚・友人宅**に避難する（分散避難）ことも考え、限りあるスペースに、本当に避難所に行く必要のある方を適切に受け入れられるようご協力ください。

避難所運営は久宝寺小学校を中心に

久宝寺地区で行う避難所運営は、自主防災組織が主体となり本部を久宝寺小学校に設置して行います。

- ※久宝寺中学校や八尾高校にも避難所を開設します。
- ※対策本部については、中学校も視野に入れて検討していきます。

久宝寺小学校区の安否確認方法例①

例①町会や班単位で確認

ステップ1 災害発生前、日ごろの備え

- ①名簿を作成し、防災備蓄倉庫等に備えておく
- ②電話やSNS、防災アプリなどの連絡手段を決めておく。

ステップ2 災害発生直後の初動対応

- ①町会長や班長は、自身や家族の無事を最優先し身を守り、被災状況と安全を確認し、事前に取り決めた連絡網により確認する。停電や通信障害がある場合は代替え手段を準備する。

ステップ3 安否確認の実施

パターン① 徒歩での安否確認の開始

- ・班長、または班内の担当者が、各家庭を巡回し、住民の安否を直接確認する。
- ・訪問時は、ドアノックし、声かけ（例：〇〇町会です。大丈夫ですか？）を行う。
- ・確認が取れない場合は、再訪問するか、ご近所に情報を求めるなど、他の方法を試みる。
- ※確認中に火災、建物倒壊などの危険があれば、速やかに避難誘導する。

パターン② 一時避難所に集合し、名簿を基に確認する。

ステップ4 記録・集約と報告

- ①確認結果を安否確認表に記載する。（例：無事・負傷・要救助・不在）
 - ②町会や班内で集約し、安否確認結果を無線等で災害対策本部へ報告する
- なお、報告時には、町会名、班番号、確認人数、不明者数、負傷者数、要救助者数を明確に伝える。

久宝寺小学校区の安否確認方法例②

例②無事ですタオル・マグネット

家の中にいる人が無事であれば、家の玄関扉やベランダなど外から確認しやすい場所に「無事ですタオルやマグネットを掲示」する。

「玄関に出すマークを決めておく」
・タオル ・ハンカチ ・手ぬぐい・マグネット 等

あなたの安否を
情報**発信**！



(町会長や班長等が) 安否確認
情報を**収集**。
安否確認後、防犯のために
かけている**タオル等**を外す



情報を指定避難所に
持ち寄る



久宝寺地区災害対策
本部に情報連携

無事ですタオルで
あなたの無事を**発信**

掲示できないことで
もしもを**発信**！

無事ですタオル等の
掲示を確認

災害時に！

安否確認マグネット

救助求む

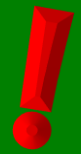
救助・救護等が必要なため応援をお願いします

無事です

安否確認不要です



久宝寺小学校区の要配慮者の 安否確認方法



災害時要配慮者とは

災害時要配慮者とは、「必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなど災害時や災害のおそれがあるときの一連の行動をとることに支援を要する人々」をいいます。

一般的には、高齢者、障がい者、外国人、妊産婦、乳幼児、難病疾患者等です。

八尾市が取り組んだこと

八尾市では、市が保有する情報を使って、一定の基準に当てはまる、災害に備えて避難に手助けを要する人（避難行動要支援者）の名簿「同意確認書兼わたしの避難計画」を作成し、地域と行政が情報共有をしながら協力して、避難支援の体制づくりに取り組んでいます。

久宝寺地区での取り組み

久宝寺地区では、「地区防災計画」の策定に合わせて、令和5年10月に「災害時要配慮者の避難行動支援」の検討会を開催しました。

◆地域特性を勘案し、町会ブロック別にワークショップ形式で討論しました。

◆討論内容：

- ①地区ごとの民生委員児童委員と自治振興委員が連携する旨の確認
- ②各地域における想定被災状況の確認（ハザードマップより）
- ③守秘を前提とした町会別の「同意者リスト」の確認
- ④各ブロックや町会単位でできること
- ⑤今後の取り組みについて

- ・改めて、民生委員児童委員と自治振興委員が連携して、同意者リストに沿って訪問します
 - ・令和5年度中を目途に訪問スケジュールを作成します
 - ・訪問時の対応や内容の打ち合わせ
- 災害時を想定して、ご本人及びご家族との顔つなぎを訪問の主眼とし、加えて、お困りごとをお聴きする。

◆取り組み：スケジュールに沿い、民生委員児童委員と自治振興委員が連携し訪問を実施します。

久宝寺小学校区 真砂第1・第2 町会情報

(東久宝寺のみ)

町会の特徴

- 空き家が多い
- 古い建物もある
- 高齢者が多い（70歳以上）
- 道が狭い
- 住民の結びつきはわりと強い
- 桜橋公園に可搬ポンプと防災備蓄倉庫がある。
- 緊急応援隊として若手6人を指名している。

町会の課題

- 道が狭いため、特に消防車が問題。ホース延長に時間がかかる。
- 安否確認など町会の確認をする役員が動けない時、誰が代わりにするのか

町会の安否確認

- まずは自分自身の安全が第一
- 安否確認をする基準は未定だが、安否確認チームが桜橋公園で安否確認をする（安否確認チームを決めている）。

その他

- 真砂第1町会と真砂第2町会と協力して、真砂地区として活動している

久宝寺小学校区 真砂第1・第2 町会情報 (東久宝寺のみ)

避難経路

【一時避難場所】

(桜橋公園)



【指定避難所】

(久宝寺小学校、中学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 真砂第2 町会情報

(北久宝寺のみ)

町会の特徴

- 空き家が多い
- 古い建物もある
- 高齢者が多い（70歳以上）
- 道が狭い
- 住民の結びつきは強い点と悪い点がある
- 府道を挟んでいる。

町会の課題

- 道が狭いため、特に消防車が問題。ホース延長に時間がかかる。
- 町会の加入者がわからない
- 旭橋の橋の通り道が滑りやすくなっている、段差もある
- 安否確認など町会の確認をする役員が動けない時、誰が代わりにするのか

町会の安否確認

- まずは自分自身の安全が第一
- 安否確認ができる体制がない

その他

- 真砂第1町会と真砂第2町会と協力して、真砂地区として活動している

久宝寺小学校区 真砂第2 町会情報

(北久宝寺のみ)

避難経路

【一時避難場所】

(北久宝寺1-3-18前歩道)



【指定避難所】

(久宝寺小学校、中学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 高砂 町会情報

町会の特徴

- 空き家が多い
- 高齢者が多い

町会の課題

- 掲示板の場所がない
- 町会全体のイベントが少ないので、全員の名前がわからない
- Googleで抜け道扱いになっている道があり危険
- 家が倒壊すると動きが寸断される
- 一人暮らしの植木の処理
- 外国人の住宅地での業務拡大

町会の安否確認

- 基本的にはラインワークスによる安否確認
- 防災タオルを購入し、かけやすいように加工し、無事を知らせる
- 班長がその班の人たちの確認

その他

久宝寺小学校区 高砂 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(東久宝寺2-4-25付近空き地)



【指定避難所】

(久宝寺小学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 本町一 町会情報

町会の特徴

- 本町一町会120世帯
- 狭い道が多い。
- 高齢者が多い。
- 近くの店の駐車場などを利用させてもらっている。

町会の課題

- 地域住民同士の把握が大切なため、餅つき等の行事で声をかけ合う。

町会の安否確認

- 家族で避難場所等を確認しておくこと。
- 本町1,2,3町会で白てぬぐい（防災てぬぐい）か白タオルを玄関か門に結ぶ。
- 確認できない場合は、班長さんや前任の班長さんが動く。

その他

- 本町町会は3つの町会に分かれている、その為柔軟に動くように考えている。

久宝寺小学校区 本町一 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(丸亀製麺の駐車場)



【指定避難所】

(大阪府立八尾高校)

凡例

避難ルート



一時避難場所



指定避難所



久宝寺小学校区 本町二 町会情報

町会の特徴

- 本町一町会60世帯
- 狭い道が多い。
- 高齢者が多い。

町会の課題

- 地域住民同士の把握が大切なため、餅つき等の行事で声をかけ合う。

町会の安否確認

- 家族で避難場所等を確認しておくこと。
- 本町1,2,3町会で白てぬぐい（防災てぬぐい）か白タオルを玄関か門に結ぶ。
- 確認できない場合は、班長さんや前任の班長さんが動く。

その他

- 本町町会は3つの町会に分かれている、その為柔軟に動くように考えている。

久宝寺小学校区 本町三 町会情報

町会の特徴

- 本町一町会90世帯
- 狭い道が多い。
- 高齢者が多い。

町会の課題

- 地域住民同士の把握が大切なため、餅つき等の行事で声をかけ合う。

町会の安否確認

- 家族で避難場所等を確認しておくこと。
- 本町1,2,3町会で白てぬぐい（防災てぬぐい）か白タオルを玄関か門に結ぶ。
- 確認できない場合は、班長さんや前任の班長さんが動く。

その他

- 本町町会は3つの町会に分かれている、その為柔軟に動くように考えている。

久宝寺小学校区 本町三 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(1 時避難所は設けず各自避難所へ)



【指定避難所】

(大阪府立八尾高校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 府住 町会情報

町会の特徴

- 入居世帯 約200軒
- 高齢者が多い
- 一人暮らしが多い
- 階段があるので避難がたいへん

町会の課題

- エレベーターが止まると避難できない
- 認知症のある方が増えているので避難方法や安否確認の仕方（方法）を決めても実際に機能しない

町会の安否確認

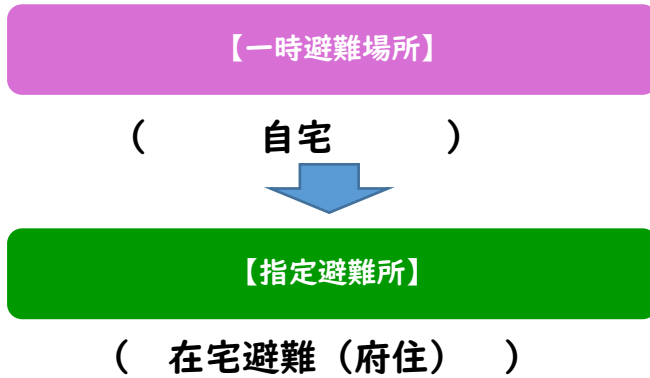
- エレベーターを挟んで4軒ずつあるので、その4軒で安否確認をする。
その後、各フロアで確認後フロアの代表者が自治会長や民生委員にTEL。集会所にて集計する
- 安否のわかるような印（無事ですマーク、タオル）を決めて見える所に出す

その他

- 基本的に在宅避難

久宝寺小学校区 府住 町会情報

避難経路



凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所

久宝寺小学校区 新町 町会情報

町会の特徴

- 狭い道が多い
- 大型の消防車など入れない。 • 高齢者が多い
- 交通量が多い。 • 木造住宅が多い。 • 古い家がある
- 独居または高齢者夫婦が多い
- 子育てファミリー層も増えてきている
- 空き家が増加

町会の課題

- 地域住民同士の把握（？）が困難
- 新規の町会加入促進が課題、住民の掌握が難しい
- 町会地図上では区分けされているが、理解や周知がされていない
- 建て替える家屋が多く後々心配
- 古い住民と新しい住民が混在。

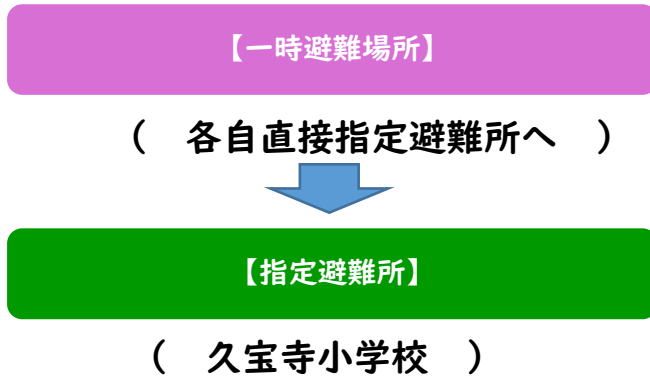
町会の安否確認

- 携帯電話など緊急連絡先を確認、防災防犯のためカードを取集する。
- 班長が班員を安否確認し自治会長に報告。
- 町会レベルでの連絡先の把握。
- 家族で確認、白手ぬぐいを班長さんが確認。
- 各班ごと安否確認のルールを作って徹底する。

その他

久宝寺小学校区 新町 町会情報

避難経路



凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所

久宝寺小学校区 北府住 町会情報

町会の特徴

- 入居世帯220の集合住宅。
- 高齢者が多い。
- 一人暮らしや外国の方が増えてきて言葉がわかりにくい。
- 階段があるので避難が大変。

町会の課題

- 新しい入居者の情報がわからない。
- 最近の入居者が自治会に入らなくていいのではないかと
言われる。
- 外国の方と言葉が通じないので交流が少ない。

町会の安否確認

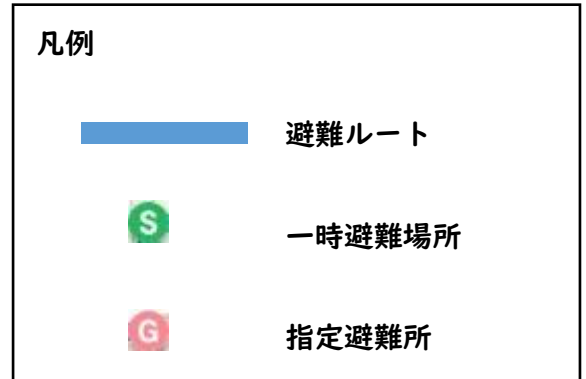
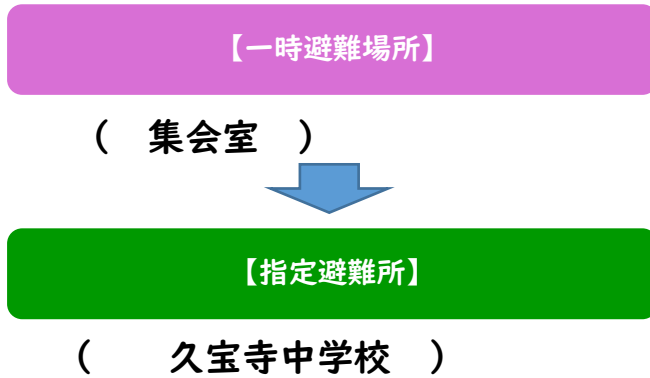
- 班長さんが（10戸）確認できるようになれば一番いい。
- 検討中だが大きな布（バスタオル等）派手な色でベランダに布団バサミで挟んで外から見れるようにする。
- 役員が訪問する。
- エレベーターが各階にないので困難な面もある。

その他

- 避難する時はご近所に声をかけて一緒に避難する。
- 防災組織を作っている。研修を受けた防災リーダーが8名そろっている。

久宝寺小学校区 北府住 町会情報

避難経路



久宝寺小学校区 グリーンマンション 町会情報

町会の特徴

- 入居世帯262戸の集合住宅。
- 自治会に入っている世帯が121軒と少ない。
- 高齢者が多い。
- 築50年で建物は古い。

町会の課題

- 自治会、管理組合、民生委員の連携が必要であり、令和6年度1回協議の場を設け、要支援者の情報を共有。
- 高齢者が多く、一人暮らしの人も多い。
- 安否確認をどうしていけばよいのか課題である。

町会の安否確認

- 玄関に安否確認のマグネットを自治会員に配布済み。
(安否確認不要です！・救助、救護が必要)
自治会員宅にしかないのも、今後全世帯に配布してはどうか、今後検討。
- バスタオルをベランダに掲げる。
- 名簿チェックは管理人または理事長にお願いする。
管理組合で緊急連絡先などを全戸に提出依頼を実施済み。

その他

- 管理人がいる時間は
平日8:30~18:00
土日は9:00~16:00
それ以外はアルソックに頼んでいる。

久宝寺小学校区 グリーンマンション 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(ファミリーマート)



【指定避難所】

(久宝寺中学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 北町第Ⅰ 町会情報

町会の特徴

- 世帯数170軒。 • 独居の高齢者が多い
- 道路も狭く突き当りの家もある
- 古い建物も多い。 • 空き家が増加している
- 自治会を脱退する世帯が増加。 • 避難所がわかりにくい
- 防災備蓄倉庫が離れている。 • 若い人が少ない
- 地域の交流が少ない

町会の課題

- 防災無線は？
- 危機意識が少ない
- 近隣一人暮らしの方には声をかける

町会の安否確認

- まず自主防衛（自助優先）
- 班長さんが安否確認
- 無事のしるしステッカーなど

その他

久宝寺小学校区 北町第Ⅰ 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(各自指定避難所へ (安全な道を確認))

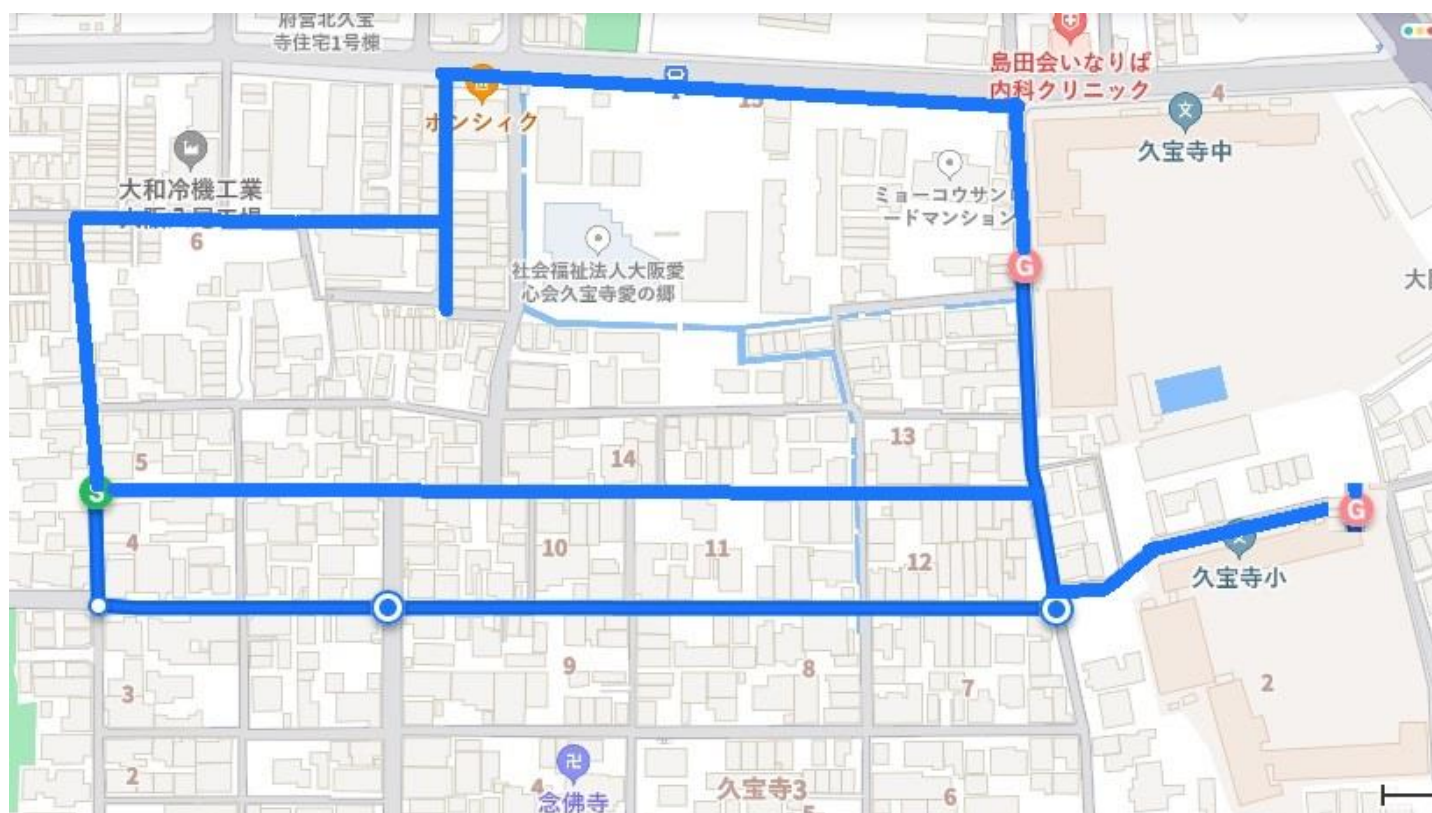


【指定避難所】

(久宝寺小学校、中学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 中町 町会情報

町会の特徴

- 町会加入世帯80軒＋未加入世帯30軒
未加入世帯が多い
- 高齢者が多い（60歳以上）
- 空き家も多い
- 木造家屋が多い

町会の課題

- 地域交流が少ない（イベントが無い）
- 新しくできたマンション等には若い人がいるが親交がない
- 町会内のリーダーとなるべき人材育成が必要
- 避難場所の明確化（認定場所、私設場所）

町会の安否確認

- 情報連絡網、ツールSNS等
- 町会未加入者の把握をどうするか

その他

久宝寺小学校区 中町 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(各自指定避難所へ (安全な道を確認))

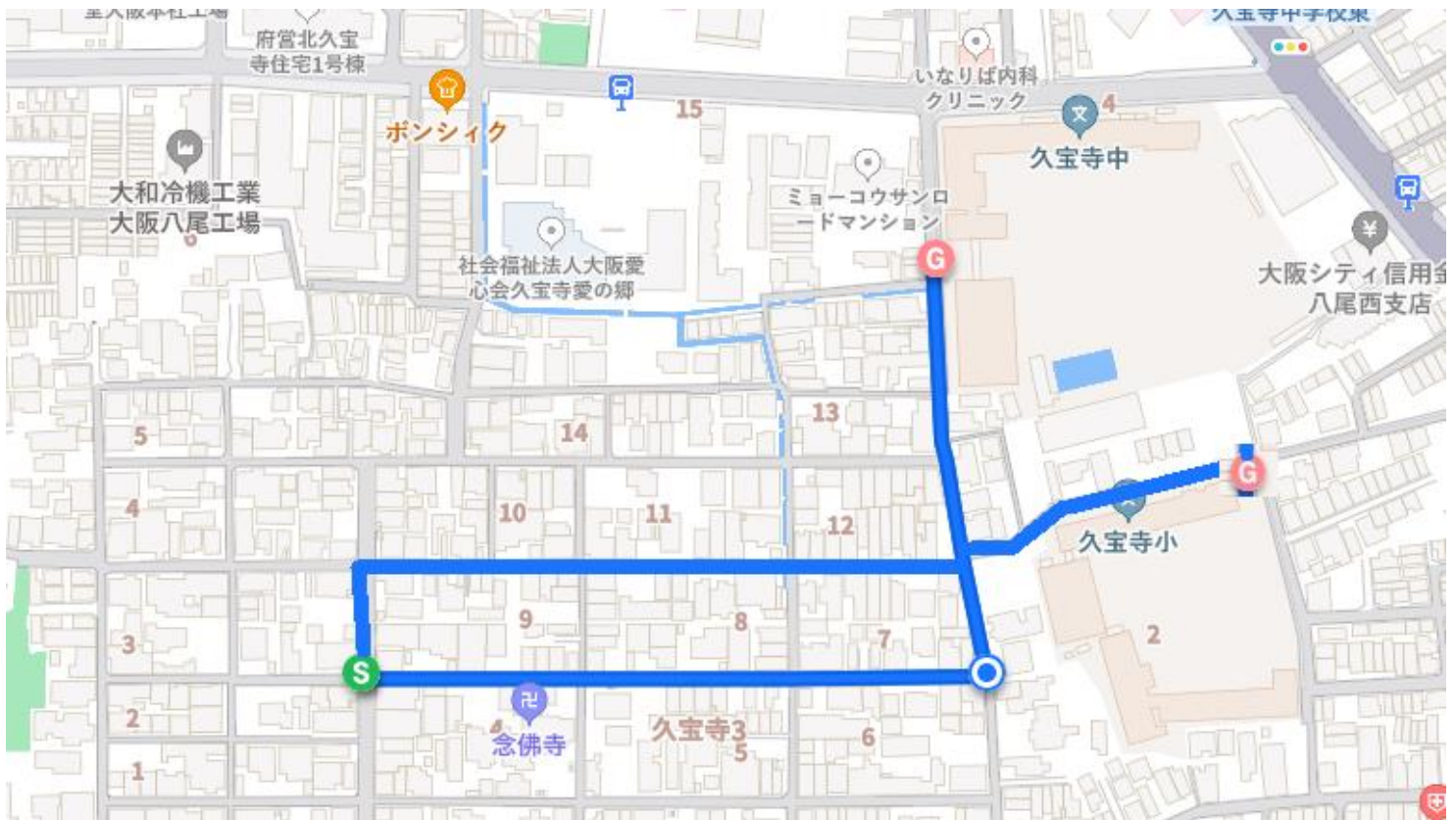


【指定避難所】

(久宝寺小学校・中学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 西町第Ⅰ 町会情報

町会の特徴

- 世帯数102軒
- 昔からの古いお宅や高齢者が多い
- 空き家はほとんど無い
- マンションも無い

町会の課題

- 新しい若い世帯も増えているが、町会に加入していない人が多い
- 普段は仕事でイベント事がわかりづらい

町会の安否確認

- 各班長が自分の班の安否確認をする
- 班長から自治振興委員へ
- 班長と各家庭の日頃からの密な連携が必要

その他

久宝寺小学校区 西町第1 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(各自指定避難所へ (安全な道を確認))



【指定避難所】

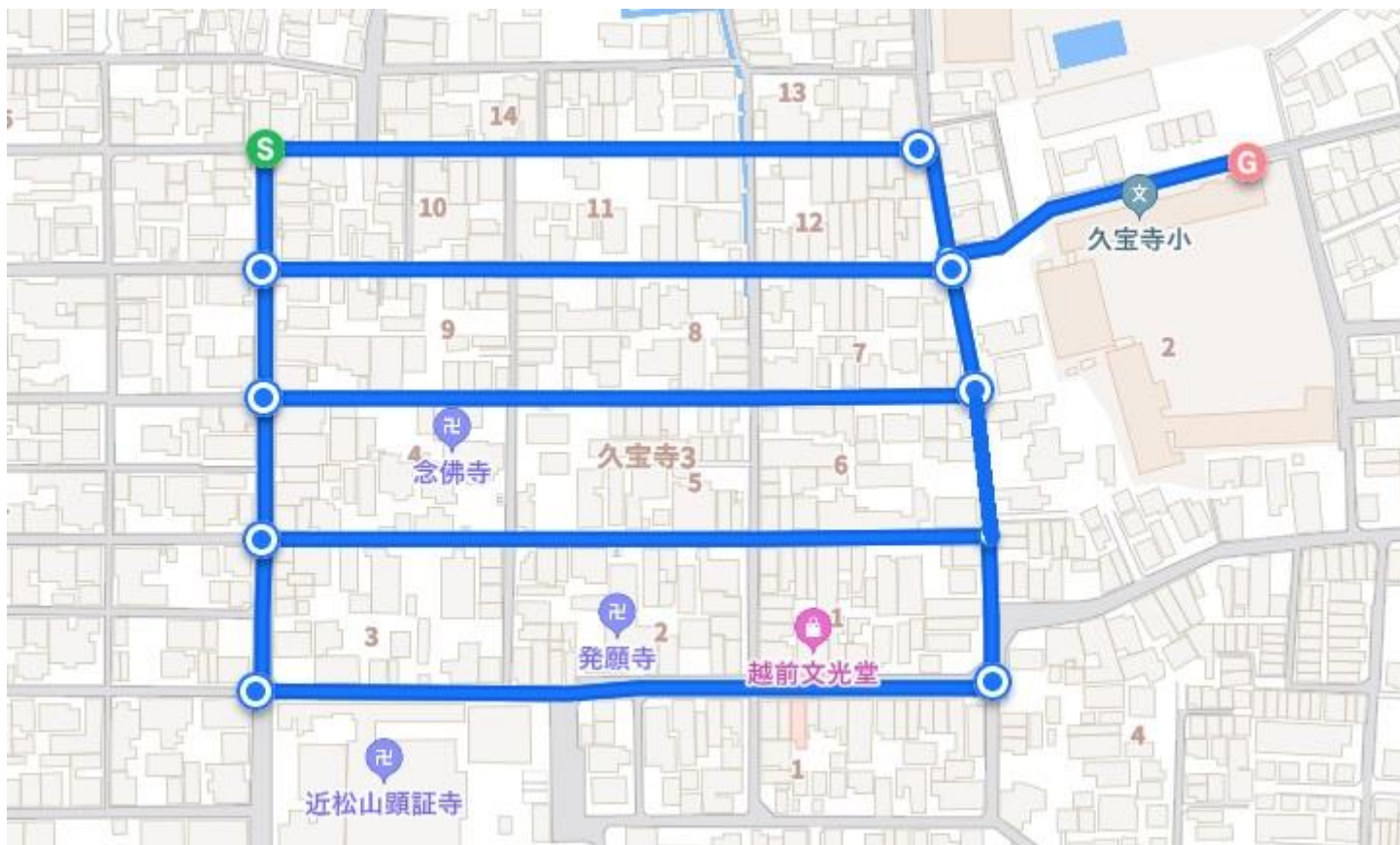
(久宝寺小学校)

凡例

避難ルート

一時避難場所

指定避難所



久宝寺小学校区 西町第2 町会情報

町会の特徴

- 昼間家にいるのは80歳以上の高齢者
- 町会に入っていない若い人たちが多い
- 町会を脱会し、町会未加入の世帯の方が多い（戸建てで未加入50軒～60軒）

町会の課題

- 町会に入っていない世帯とは疎遠になりがち
- 新しい家は離れているため全くわからない
- 避難所の小学校までの道がややこしく狭い

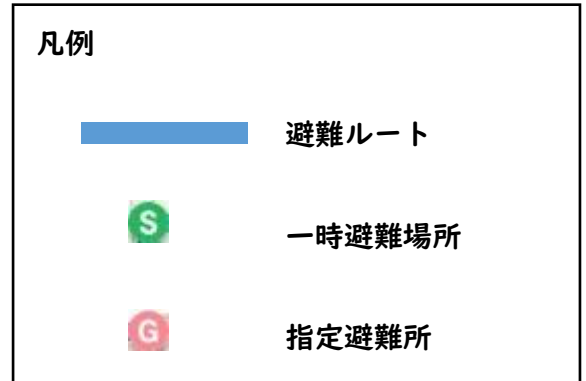
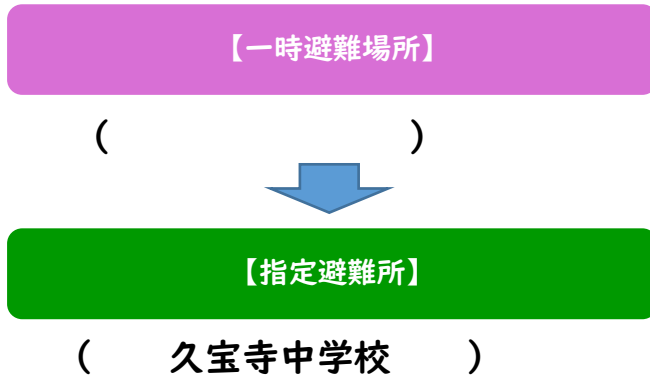
町会の安否確認

- 町会未加入世帯が多いため、町会単位より、隣近所同士、日頃の付き合いで安否確認
- 班長さんが安否確認できれば自治振興委員へ
- 「〇〇に避難しています」など家の前に貼るようなものを配っておく

その他

久宝寺小学校区 西町第2 町会情報

避難経路



久宝寺小学校区 老松 町会情報

町会の特徴

- 高齢者が多い
- 狭い道が多い
- 古い建物が多い

町会の課題

- 耐震工事の調査が必要
- イベントがないので、第2公園のかまどベンチを使って交流を図る

町会の安否確認

- 基本的には班単位で安否確認をしてもらう
- 玄関にタオルをぶら下げる
- 各戸配布で安否確認の方法を知らせ、玄関または目に付く場所に貼っておく

その他

- 道が狭いし家が古いので各自安全な場所を探して避難する
- 直接避難場所（小学校）へ

久宝寺小学校区 老松 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(各自で指定避難所へ)



【指定避難所】

(久宝寺小学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 東2 町会情報

町会の特徴

- 町会組織がない
- 班としては繋がっているが、それ以上の繋がりには難しい
- 各種団体が繋がっていない

町会の課題

- イベントがないので、第2公園のかまどベンチを使って交流を図る

町会の安否確認

その他

久宝寺小学校区 東2 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(各自で指定避難所へ)

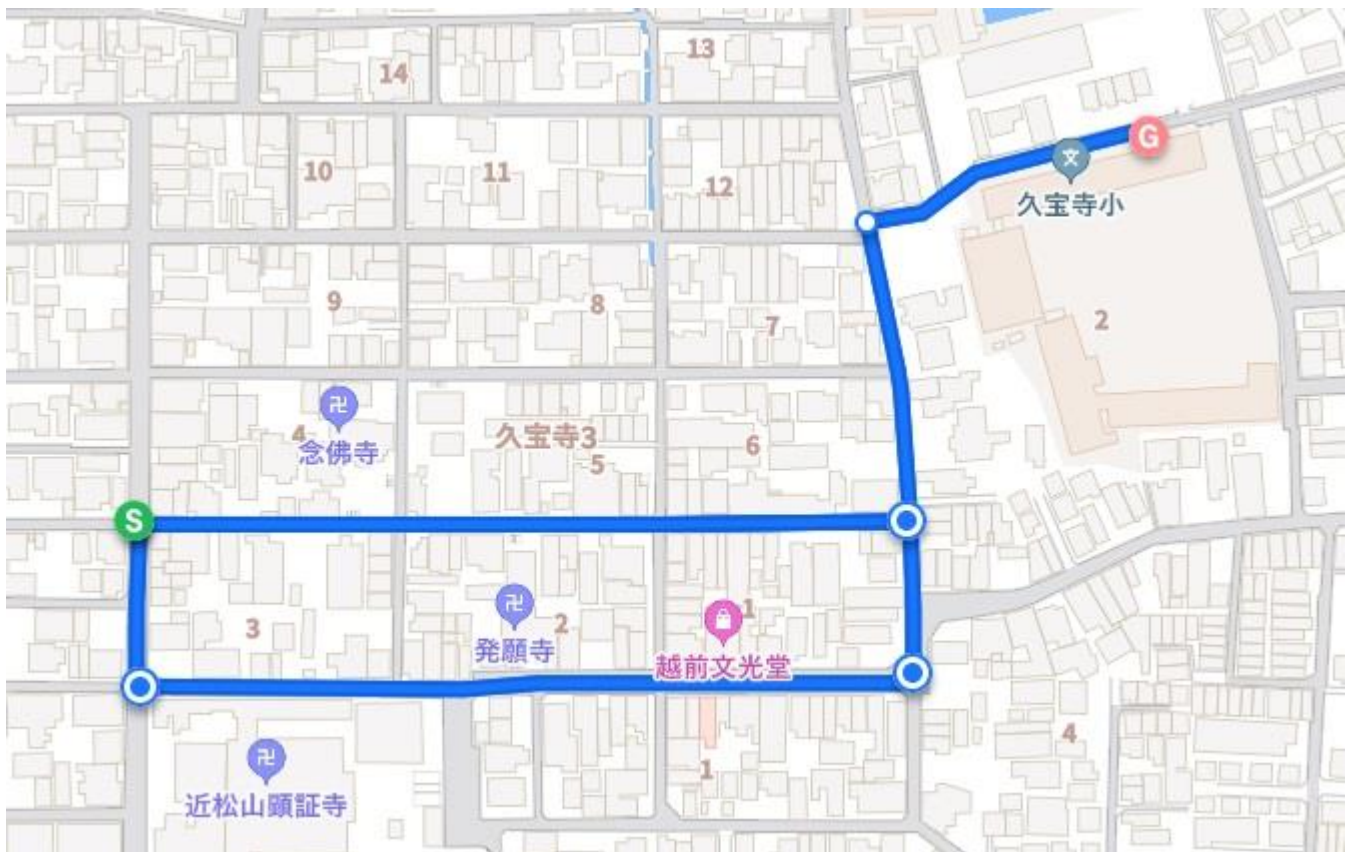


【指定避難所】

(久宝寺小学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 南久宝寺 町会情報

町会の特徴

- 戸建て住宅が多い。
- 道が整備されている。
- 若い世帯が多くネットワークが作りやすい。
- 賃貸住宅が多い。

町会の課題

- 各家庭の要支援者の把握ができていない。

町会の安否確認

- 役員と班長の間でLINEで確認をとり、班長が各班の安否確認を行う（できる範囲で）

その他

久宝寺小学校区 南久宝寺 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(くじら公園)

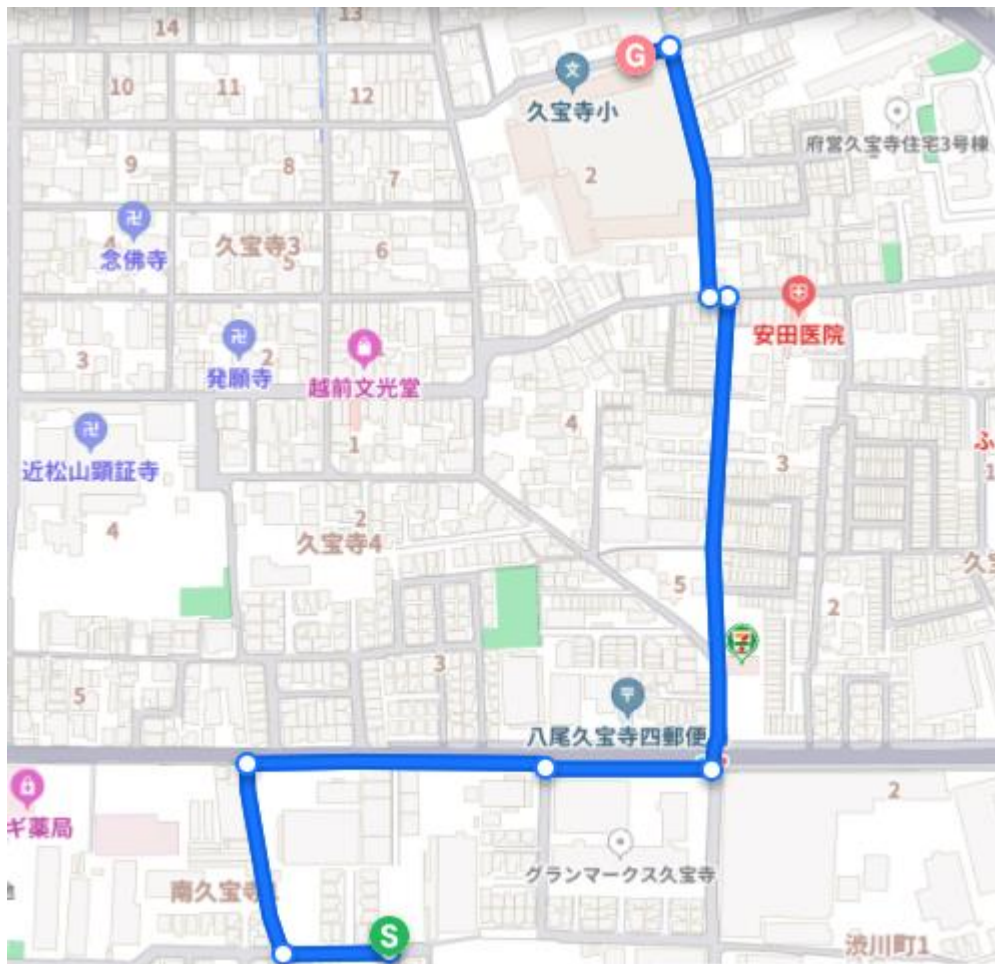


【指定避難所】

(久宝寺小学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 南久宝寺神武 町会情報

町会の特徴

- 戸建て住宅が多い。
- 道が整備されている。
- 若い世帯が多くネットワークが作りやすい。
- 賃貸住宅が多い。

町会の課題

- 各家庭の要支援者の把握ができていない。

町会の安否確認

その他

久宝寺小学校区 南久宝寺神武 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(各自で指定避難所へ)



【指定避難所】

(大阪府立八尾高校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 シャルム 町会情報

町会の特徴

- ・ マンションなので住民の把握がしやすい

町会の課題

- ・ 高齢者が多くなっているため、避難するのが困難である。
住民同士のコミュニケーションをとる（日ごろからの声掛け）

町会の安否確認

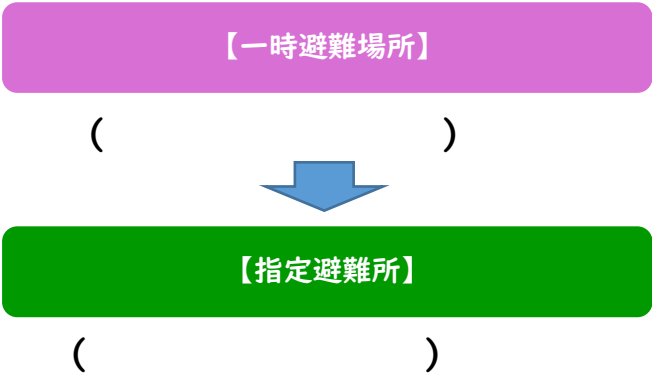
- ・ 名簿作成（班ごとの名簿を作る、2部作成し引継ぎを徹底する）

その他

- ・ 防災意識を高める
- ・ 毎年防災訓練を行う

久宝寺小学校区 シャルム 町会情報

避難経路



凡例

避難ルート

S

一時避難場所

G

指定避難所

久宝寺小学校区 南3 町会情報

町会の特徴

- 班の集合体なので班ごとにルールが異なる

町会の課題

- 班の集合体なので班ごとにルールが異なる

町会の安否確認

- 町会長と班長の連携を活かす

その他

久宝寺小学校区 南3 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(久宝寺第1公園)

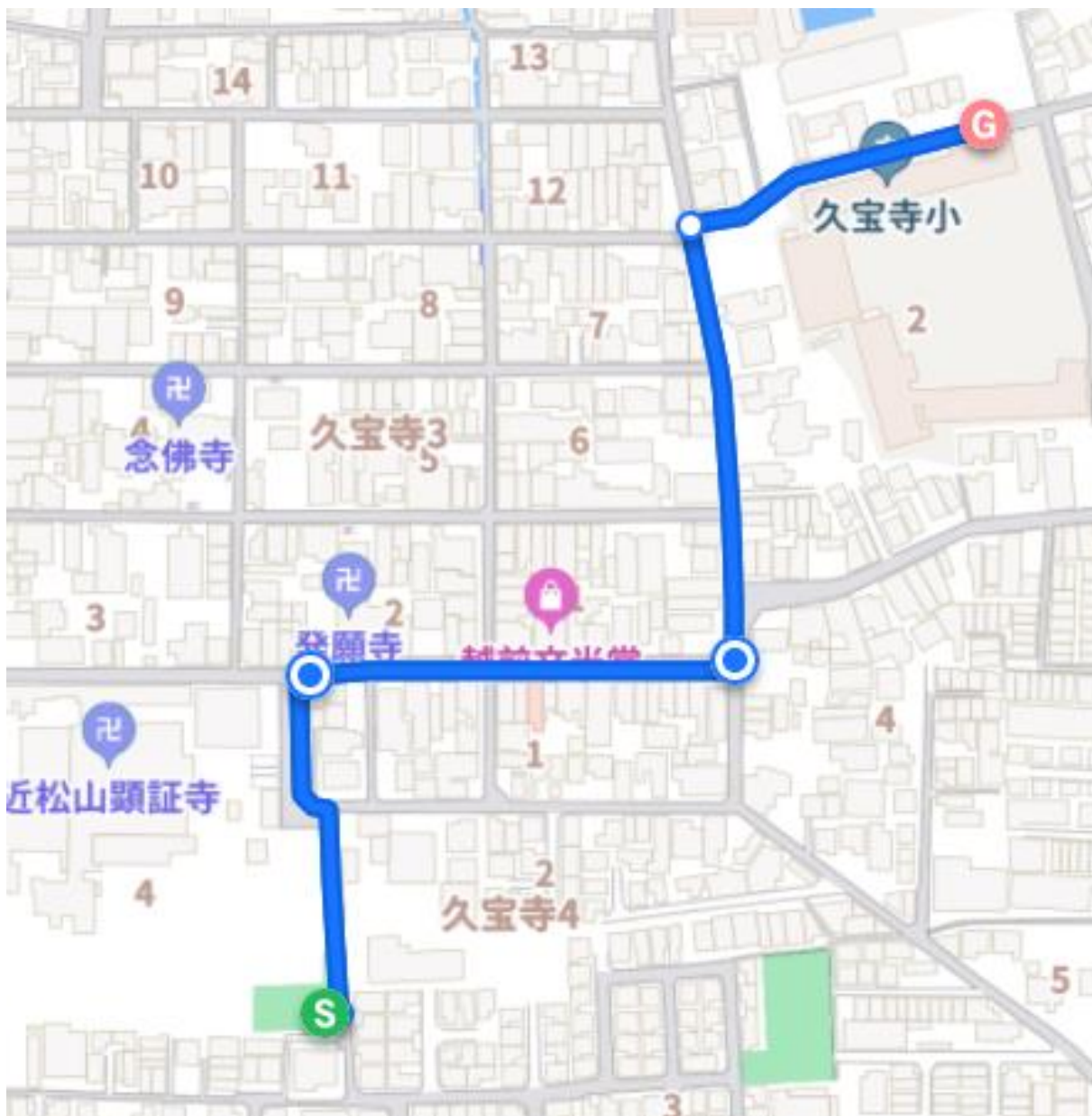


【指定避難所】

(久宝寺小学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



久宝寺小学校区 リーデンス 町会情報

町会の特徴

- 若い世帯が多い。
- 町会の規模がまだ小さいので動きやすい。
- 避難所（小学校）までが遠い。
- 比較的新しいマンションなので建物は大丈夫ではないか。

町会の課題

- 町会に加入していない世帯が多く、どう連携するか。

町会の安否確認

- 原則LINE で無事確認。
- 重ねて無事旗方式で玄関先にタオルかハンカチをくくる。
- 役員が担当階をチェックし町会長へ報告する。

その他

- 基本的に在宅避難とし、集会室または掲示板で情報共有を図る。

久宝寺小学校区 リーデンス 町会情報

避難経路

【一時避難場所】

(リーデンス エントランス)



【指定避難所】

(久宝寺小学校)

凡例

-  避難ルート
-  一時避難場所
-  指定避難所



避難所の開設・運営の方針について

★避難所は住民の自治による開設・運営を目指します。

○避難所は、地域コミュニティの場となります。発災直後には、住民自治による迅速な取組が重要となることから、避難所は原則として、住民の自主運営とします。自分たちで運営していく場所として取り組みます。

★ 3日間は地域で助け合う！行政は体制が整い次第、支援に！

○これまでの災害事例から、大規模災害の発生直後における、救出・救護や避難所開設・運営は、住民自治による迅速な取組が重要となります。行政は、職員の被災、行政機能の低下や人命救助等の応急措置の実施などにより、3日間は地域に入ることが難しい状況もありますが、体制が整い次第、支援に入ります。

★ 『3・3・3の原則』

○災害発生から避難生活期に至るまでの時間経過と対応の目安を「3・3・3の原則」として、示します。

～3 分	30 分	3 時間	3 日間	3 週間～
自身・家族の身の安全を確保	救助体制の確保、「地域の集合場所」に集まる！ 安否確認、救出・救護	安全を確保した上で、助けを必要とする人の発見・救出 災害対策本部の立ち上げ	町会全員の安否確認と安全な避難を行う 避難所運営委員会の立ち上げ及び ルールの設定	避難生活の安定へ

久宝寺小学校指定避難所運営①

開設の手順

自主防メンバーの動き



地震 震度5強以上で自動開設

鍵の担当者

避難所 到着

- 自分や家族の安全確保し避難所へ
- 校門の解錠

避難所 安全確認

- 敷地内の安全確認
- 建物の安全確認

開設

- 避難者と協力し避難所開設準備
- 体育館を解錠し、レイアウトづくり
- トイレの設置（使用制限の検討や簡易トイレの設置）
- 受付の設置

避難者 受け入 れ

- 受付をして避難者を体育館に入れる
- 体調チェック、必要であれば個別対応
- 運営体制の構築

久宝寺小学校区指定避難所運営②

受付

◇受付対応のスタンス

- ・突然の大地震に遭い、様々な問題を抱えたパニック状態の避難者が、今後の適切な避難生活を送っていただけるよう導くための最初の機能であり、避難所開設時の最も大切な機能と位置づけられる。

◇受付の機能について

- ・「狭義の受付」（避難者の名前・住所・連絡先・健康状態の管理）に並行して、「相談所」を開設し、上記の様々な問題を抱えた避難者の対応と受付への橋渡しをする。
- ・また、「車中泊希望者の自家用車」「緊急用車両」「災害物資運搬用車両」など各種車両の進入が考えられるため、正門付近に「車両受付」を設ける。

◇名簿管理について

- ・まずは避難者の心を落ち着けることを優先し、世帯代表の受付と居住スペースへの誘導を行う。個々人の名簿については居住スペース誘導後に作成する。

◇居住スペースへの案内と誘導

- ・次のような避難者の属性に応じた避難スペースのレイアウト区分と確保を行って、案内・誘導する。

<考えられる避難者の属性>

健常者 / 病气(薬) / 認知症 / ペット同伴 / 高齢 / 外国人
精神障がい者 / 身体障がい者 / 乳児 / 妊婦 / 感染症罹患
けが人(軽傷・重症) / 要介護者 / 車椅子生活者 / 他地域からの来訪者(旅行者・出張者など)

- ・以上の属性毎にスペースを区分・確保するには、体育館のみならず教室も避難スペースとして確保する必要がある。(事前に決めておく。)
- ・避難スペースが決まった避難者には、不審者対策として「居住スペース」を示す「名札」を着用してもらう。
なお、名札には名前は書かず、「番号」「アルファベット」「動物名」などとして匿名性を確保する。

◇受付自身がパニックにならないように！

冒頭に記載の「受付機能」の重要性から、「受付自身がパニックにならない」ようなメンバーと体制が必要。

久宝寺小学校区指定避難所運営③

レイアウト

◇レイアウトを考えるうえで大事なこと

- ・人がどんどん押し寄せてくる可能性もあり、迅速に対応することが必要。
あらかじめ3mずつなどの区切りの印を付けたロープを準備しておいて、すぐ間仕切りにかかる。
- ・避難者の属性に応じた避難スペースのレイアウト区分と確保を行う。
＜考えられる避難者の属性＞
 - ※受付ポイントの「居住スペースへの案内と誘導」を参照ください。
 - ※特に着替えや授乳の必要性から女性専用のスペース・テントは必須である。
- ・以上の属性毎にスペースを区分・確保するには、体育館のみならず教室も避難スペースとして確保する必要がある。二次的に使えるスペース（コミセンやまちなみセンター等）も考えておいた方がよい。
- ・スペースの割り当てが一番難しい。先着順というわけにもいかないなので、受付と連動し、適切に案内・誘導する。
- ・スペースに仕切りのテントは数がないので、自前のテントを張る等考えてもらう。

◇作業

- ・最少3名で3mの区割りを作成していく。
- ・間仕切りテント、段ボールベッドは4名で15分程度で作成できる。
- ・その他、共有スペース等を設置できるよう、倉庫などの備品の移動が必要。

◇居住

- ・3メートル四方で体育館フロアーを区分、それに対して間仕切りテントが現状不足している。
- ・3メートル四方に何人居住するか？快適さと優先すると収容人数が少なくなってしまう。（例：スフィア基準の1名当たりの避難スペースは3.5㎡）
- ・体育館に次にどの教室を空けてもらえるか、学校と協議をしておく必要がある。

久宝寺小学校区指定避難所運営④

トイレ

◇トイレ設置の考え方

- ・避難所開設時は、上下水道ともに使用できない可能性が高い為、特に下水道が使用可能かどうかははっきりするまでは水洗トイレは使用せず、使い捨てトイレを設置し使用する。
- ・障がいをお持ちの方や高齢者の方、女性も使用しやすいようにバリアフリー・個室スペース・設置数をできるだけ多く確保する。(洋式トイレは必須)
- ・トイレの使用方法から汚物の処理方法まで誰もがわかりやすいルールを作る。

◇久宝寺小学校のトイレの現状

- ・体育館内トイレ：男子トイレ個室1つ、女子トイレ個室2つ、多目的トイレ1つ。
多目的用以外は和式のため、そのスペースに簡易トイレ(ベンリートイレ)を設置して使用が望ましいと思われるが内開きのドアなため、カーテン等の目隠しが必要。
- ・北館トイレ：男子トイレ個室1つ、女子トイレ個室2つ。
洋式のため、そのまま袋があれば使える。

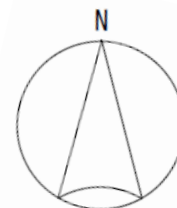
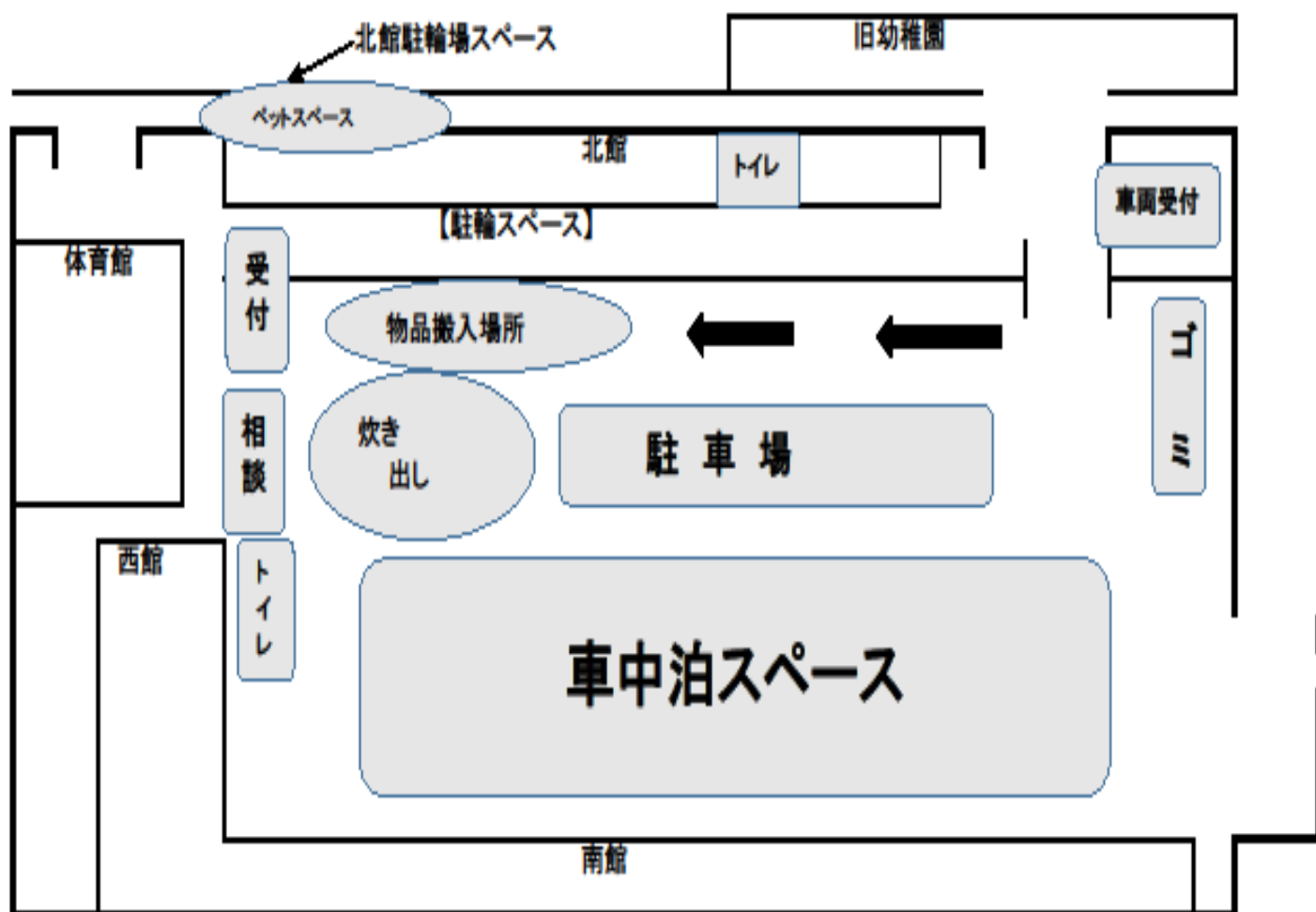
◇課題等

- ・実際大勢の方が避難してくると、袋の数が足らなくなる可能性が高い。
各家庭でなるべく多く常備をする必要がある。
- ・避難者は高齢者が多いと思われるが、トイレ介助等も必要になってくるのでは。
- ・汚物の収集場所は回収しやすく、臭いの気にならない場所が望ましい。

久宝寺小学校区指定避難所運営⑤

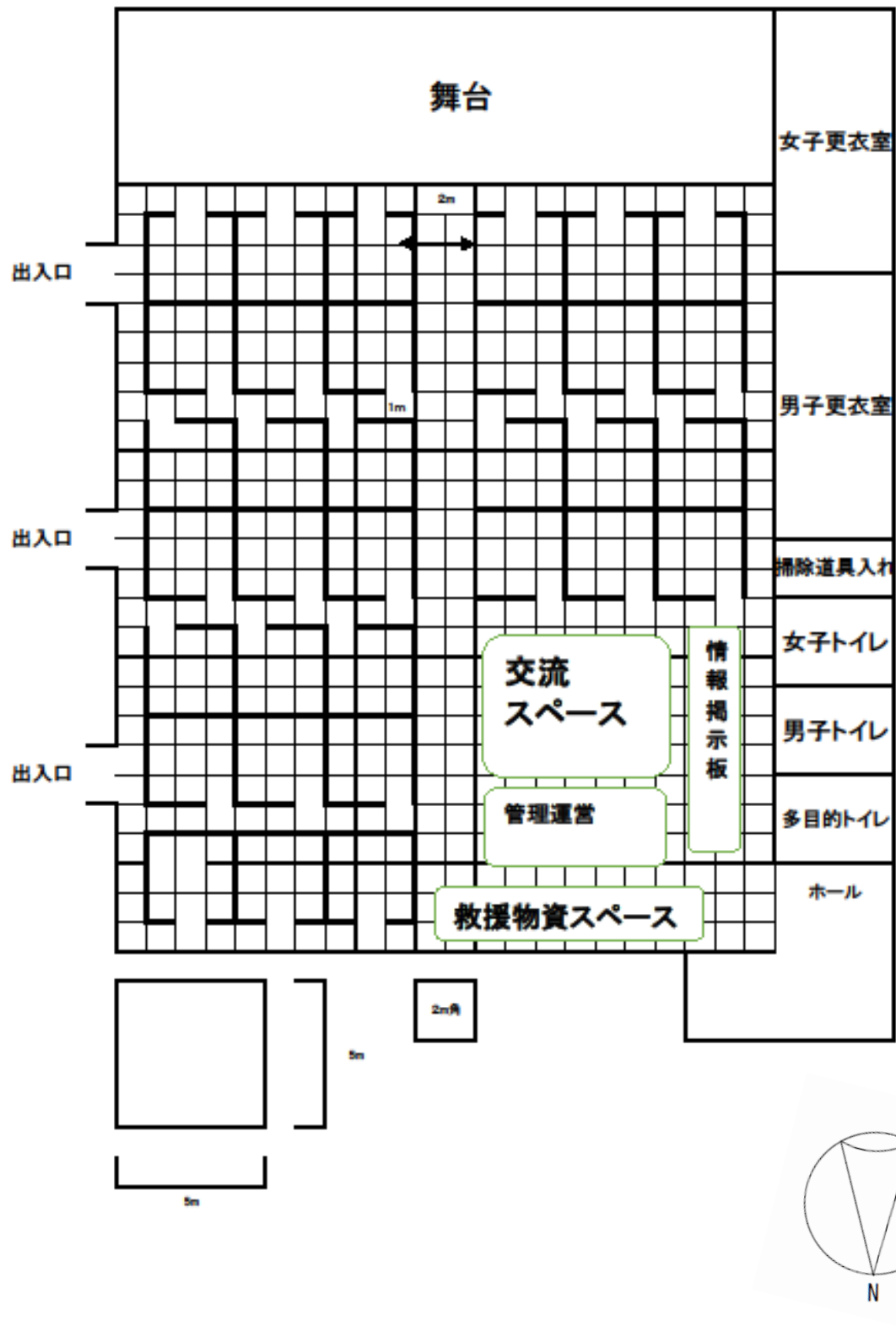
避難所レイアウト（小学校運動場）

久宝寺小学校運動場イメージ図(案)



久宝寺小学校区指定避難所運営⑥

避難所レイアウト（小学校体育館）



今後の課題

避難所に関すること

- 指定避難所に久宝寺全住民が避難できないため、今後も分散避難を推奨する必要がある
- 避難所となる学校の先生と、顔合わせや協議により連携していく必要がある。
- 避難所確保に向け、久宝寺中学校や八尾高校との連携が必要である。
- 地域と施設連絡会（高齢者施設）などと連携していく必要がある。

地区防災計画に関すること

- 久宝寺地区のコンセプト（目標）に向け、継続的に見直し改訂を積み重ねる必要がある。
- 計画を継続的に見直していくための各地区の防災委員（自主防メンバー）の引継ぎが必要である。

年間スケジュール

日付	項目
月 日	地区防災計画の周知
月 日	防災訓練の実施
月 日	防災訓練の結果検討
月 日	要配慮者名簿の確認
月 日	地区防災計画の見直し
月 日	次年度の地区防災計画の課題抽出

久宝寺小学校区 令和7年3月